

取扱説明書

真空パック器(脱気シーラー)
吸太郎(AS-V-001)

この度は真空パック器(脱気シーラー)『吸太郎』をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書はご使用になる前によくお読みいただき、正しくお使い下さい。
またお読みになった後は大切に保管して下さい。

【製品紹介】

『吸太郎』は軽量コンパクトボディで場所を選ばず、操作も簡単です。また、強力な真空能力を持ち、様々な用途でご使用いただけます。食品工場からスーパー、レストラン、飲食店、農産物、病院、研究機関、工業分野、一般家庭などさまざまな業種のニーズにお応えします。

目次



◇ 使用上のご注意P1~3
◇ 仕様、付属品P4
◇ ご使用できる袋についてP5
◇ 各部の名称P6
◇ ご使用方法P7~10
I. 真空+シール作業時のご使用方法P7、8
【便利機能】P9
II. シール機能のみの場合のご使用方法P10
◇ お手入れの方法P11、12
◇ 故障かな?と思ったらP13
◇ 保証書P13




使用上の注意

この説明書および商品には、安全にお使いいただくために色々な表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、右のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記事事項をお守りください。





区分

図記号の意味（一例です）

 警告	無視すると人が死亡または重傷を負うおそれがある内容。
 注意	無視すると人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容。




 記号	気をつける必要があることを表す。
 記号	してはいけないことを表す
 記号	しなければならないことを表す

警告

 必ず実施	コンセントは専用で使う。(容量6 A以上) タコ足配線は過熱・発火の原因になる。
	シールヒーターは必ず指定部品を交換する。 また、交換後は必ずテフロンテープを貼り付ける。 不適正な交換は、過熱・火災・感電の原因になる。
	電源プラグの刃や刃の取付け面に付いたほこりは、よくふき取る。 火災の原因になる。
 禁止	ストッパーフック差込口を絶対に指等で動かさないで下さい。 やけど、感電、火災の原因になる。
	本体に水をかけない。本体は水につけない。 ショート・感電の原因になる。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。 やけど・けが・感電するおそれがある。
	シールヒーター一部のテープをはがして使用しない。 やけど、火災、感電の原因になる。
 プラグを抜く	シールヒーター一部の交換やお手入れは電源ボタンを「切」にし、電源プラグを抜いてから行う。また、電源プラグは濡れた手で抜き差ししない。やけど・けが・感電をすることがある。
 分解禁止	修理技術者以外は、分解・修理・改造しない。 発火したり異常動作でけがをすることがある。 修理する際は、必ず電源プラグを抜いてから行ってください。



注 意

 <small>禁 止</small>	<p>交流100V以外では使わない。 使うと感電・火災の原因になる。</p>
	<p>不安定な場所や火気の近くで使わない。 けがや変形・火災の原因になる。</p>
	<p>本体のみでの吸気・密封時は液体を吸わせない。 集水タンクからあふれると、本体底から排出し周辺をぬらす。 汚れては困るものの上などで使わない。 〔汁物の密封には集水タンクをご使用ください。〕 〔ノズル内の洗浄については取扱説明書をご覧ください。〕</p>
	<p>トップカバーを押えるとき、トップカバーの下に手や指を入れない。 トップカバーにはさまれ、やけど・けがをすることがある。</p>
	<p>袋をセットせずにトップカバーを押さない 過熱・火災の原因になる。</p>
	<p>吸気・密封以外の用途に使用しない。 不適正な使用は、感電・ショート・発火の原因になる。</p>
	<p>引火性・可燃性の液体・気体などは吸わせない。 引火し発火する危険性がある。</p>
	<p>吸気・密封による保存品の品質を過信しない。 包装品・保存期間、方法などの条件により、変質・腐敗など事故の原因になる。</p>
	<p>電源コードを持って電源プラグを抜かない。 コードの傷み、感電・ショート・発火の原因になる。</p>
	<p>傷んだ電源コードや電源プラグ・ゆるんだコンセントは使わない。 感電・ショート・発火の原因になる。</p>
<p>電源コードに無理な力がかかる、重いものを乗せる、変形させる、たばねるなどしない。 電源コードが破損し、感電・火災の原因になる。</p>	
 <small>接触禁止</small>	<p>使用直後はヒーター面に触れない。 やけどをすることがある。</p>
 <small>プラグを抜く</small>	<p>使用時以外は電源プラグを抜く。 やけど・感電・漏電火災の原因になる。</p>

《こんなことにもご注意》

注意 お手入れの際はベンジン、シンナー等で拭かないでください。

注意 本体を持ち運ぶ際は機械本体の底部をしっかり持って下さい。

注意 ノズルのお取扱いは丁寧に行ってください。

注意 本体を落としたり、強い衝撃を与えないでください。

注意 本体の上に物を載せないでください。

注意 水分の多い内容物を吸気シールする場合、集水タンク内の水が半分以上になる前に必ず除去してください。

注意 ご使用にならない時は電源プラグをコンセントから抜き、吸気ノズルを収納しトップカバーを開けた状態にして保管して下さい。

・ご使用中に万一、正常に動作しない場合は、再起動して下さい。

【仕様】

商品名 : 吸太郎
型番 : AS-V-001
電源 : AC100V 50Hz/60Hz
最大消費電力 : 150W
吸気性能 : -60Kpa
シール寸法 : 275mm×4mm (長さ×巾)
重量 : 3.8Kg
寸法 : 380×180×80mm (幅×奥行き×高さ)
コード長 : 1.8m
推奨連続使用 : 吸気シール 1回/分
使用目安 : 100パック/日

*シールのみでのご使用は極力お控えください。各部の劣化が早まる危険性があります。

【付属品】

集水タンク	1
チューブ (長)	2
チューブ (短)	1
テーブル	1
集水タンクホルダー	1
取り扱い説明書	1
ヒーター線	2
テフロンテープ	2
ノズル清掃器具	1
サンプル袋セット	1



付属品一式



テーブル



集水タンク・集水タンクホルダー

【ご使用できる袋について】

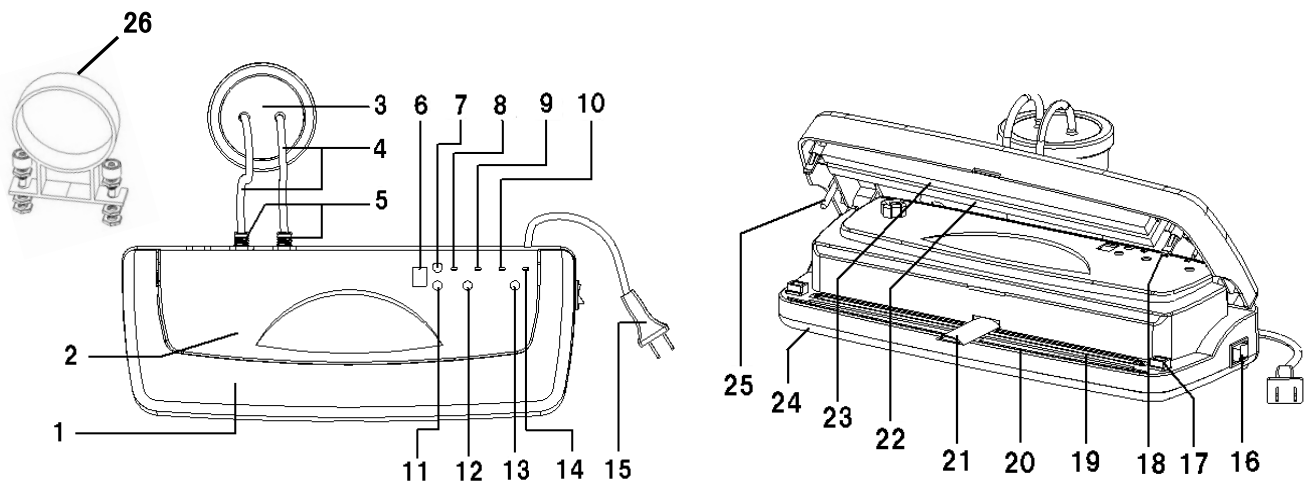
真空包装する場合は真空袋をご使用ください。

包装する食品の種類や内容物によって、また吸気包装後に加熱殺菌や冷凍保管するなど、用途に応じた袋の選定が必要です。

注意！

- ・食品を保存するときは保存期間や食品の種類に応じ使用方法をお選びください。
なお、吸気包装による食品の品質を過信して使用することは禁物です。
- ・本機には殺菌作用はありません。
- ・ノズルと集水タンクは常に清潔に保ってください。不衛生なものの吸気・密封に使用することは避けて下さい。
- ・同一機を食品関係のもの、生活用品・工業用部品の両方に使用することは避けて下さい。

【各部の名称】



番号	部品説明	番号	部品説明
1	トップカバー：押すと、ロックが解除され、カバーが開きます。	14	一時停止ランプ
2	本体カバー	15	電源コード
3	集水タンク	16	電源スイッチ
4	チューブ(長い)	17	ストッパーフック差し込み口
5	チューブ差込口	18	ストッパーフック：
6	タイマー表示：操作状況をお知らせします。	19	テフロンテープ：
7	+ボタン：時間を長くするボタン	20	密封クッション(茶)：袋とノズルを密閉します。(空気の漏れ防止)
8	シールランプ：シールのみ使用時にランプが点滅します。	21	吸気ノズル
9	吸気・シール：真空+シール時にランプが点滅します。	22	シールクッション(茶)：袋とヒーター線を密着します。
10	吸気ランプ：真空のみの使用時にランプが点滅します。	23	密閉クッション(黒)：袋とノズルを密閉します。(空気の漏れ防止)
11	-ボタン：時間を短くするボタン	24	本体ボトムカバー
12	機能切替ボタン：真空シール、シールのみ、真空のみの切替。	25	センサーレバー
13	一時停止ボタン：作動を一時停止します。(作業時以外は常に点灯しております)	26	集水タンクホルダー：集水タンクを固定します

【ご使用方法】

I. 吸気+シール作業時のご使用方法

① 付属のチューブ(短)で本体後ろ側のチューブ差込口2か所をつなぐようにしっかり差込んで下さい。

② トップカバーのPUSHを掌で押してカバーを開けてから電源スイッチをONにして下さい。

※タイマーの初期設定は5(4秒)で点灯します。

③ 袋の厚みに合わせて $\boxed{+}$ と $\boxed{-}$ のボタンで適度なシール時間を設定して下さい。

※表示数字とシール時間の詳細は下記の通りです。

1=1秒、2=1.5秒、3=2秒、4=3秒、5=4秒、6=6秒、7=8秒 8=12秒、9=15秒

④ 機能切替ボタンを押して $\boxed{\text{吸気・シール}}$ のランプを点灯させて下さい。

吸気ノズルが自動的に出て来ます。

⑤ $\boxed{+}$ と $\boxed{-}$ のボタンで吸気の設定して下さい。(初期設定はdです)

※袋の大きさや、内容物の体積で吸気時間を設定して下さい。

※アルファベットの吸気時間の詳細は下記の通りです。

A=5秒、b=10秒、C=15秒、d=20秒、E=30秒、F=40秒、G=60秒

⑥ 内容物を入れた真空袋にしわが寄っていないことを確認し、吸気ノズルへ挿入し袋を機械の奥まで当てて下さい。

$\boxed{\text{ポイント}}$

① 吸気する際は、出来るだけ内容物をノズルの方に近づけてください。

*ノズルの先端に袋が密着し、吸気を妨げるのを防ぐためです。

② ノズルの先端に袋が密着した場合はノズル先端部の袋を指でつまんで擦りながら空気の通り道を作ってください。

⑦ トップカバーのPUSHを掌で押さえて確実にロックして下さい。

吸気・シールのランプが点滅し、吸気が始まります。

※吸気がうまくいかない時は一時停止ボタンを押し、カバーを開け、再度一時停止ボタンを押し解除してから袋をセットし直して下さい。

注意 トップカバーのロックが不十分ですと十分な吸気と綺麗なシールができません。

⑧ 真空ポンプが停止し、ノズルが引込むと表示パネルが数字に替わり、カウントダウンします。

※加熱シール中であることを表しています。

⑨ シール加熱が済んだ後、ヒーター線の冷却時間に移ります。

※アラーム音がゆっくり“ピー...。ピー...”と5回鳴ります。

アラームが素早く“ピ.ピ.ピ.ピ.”と鳴ると、シール・冷却が終了したことをお知らせします。 トップカバーの両側を押すと、バーが上り、真空シールの完成です。

警告 この製品はヒーター線が高温になりますので、絶対に手を触れないでください。

★電源を切っても次回起動時に前回の設定時間が自動的に記憶されています。

注意 この製品は過熱の自動保護装置が付いているので、製品内温度が規定を超えると、タイマー表示が「E」で点滅しアラーム音が警報しながら機器がストップします。

※温度が下がれば自動的に復旧します。

注意 ご使用にならない時は吸気ノズルを収納した状態にし、トップカバーを開けた状態で保管して下さい。

※ノズルを出したままトップカバーを閉めたままにすると、クッションゴムが変形し、シールに不具合が生じます。

機能切替ボタンを押し**シール**の表示ランプを点灯させるとノズルが収納されます。

【便利機能】

☆ 真空動作中でも状況に合わせて機能切替ボタンを押せば真空動作を中止しそのままシールに入ることができます。

《操作のポイント》

脱気タイマーを長めに設定(G等)すると調整がし易くなります。

※液体ものや真空度を調整しながらパックしたいときに便利です。

警告 液体ものを真空パックする場合

※液体ものをパックする場合は必ず図面のように集水タンクのチューブを機械の後ろ側にあるノズル差込口に取り付けてください。(P6 各部の名称を参照)
集水タンクホルダーをノズル差込口にセットして固定して下さい。

注意 作業終了後は必ずノズル、集水タンクを洗浄して下さい。(P12参照)

注意 集水タンクの中の液体が半分以上になる前に、必ず除去して下さい。

☆ アラーム音を任意で消すことができます。

《操作方法》

操作パネルの**一時停止**ボタンを押しながら**機能切替**ボタンを押してください。

タイマー表示が「J」となり消音状態となります。

元に戻すには再度上記操作を行えばタイマー表示が「L」となりアラーム音が鳴るようになります。

Ⅱ. シール機能のみの場合のご使用方法

- ① トップカバーのPUSHを掌で押してカバーを開けてから電源スイッチをONにしてください。

※機能切替ボタンでシールの表示ランプを点灯させて下さい。

注意 各部の劣化が早まる危険性がありますので、シールのみでのご使用は極力お控えください。

- ② 袋の厚みより、+、- ボタンで、シール時間を調整してください。

+ を押すと長くなり、- を押せば短くなります。

※薄い袋(0.03mm位)をご使用の場合は、設定を3(2 秒)に合わせてから調整して下さい。

- ③ 内容物を袋に入れてから、内層カバーの奥にあててセットして下さい。

- ④ トップカバーのPUSHを掌で押すと、ロックがかかり、シールが開始します。この時、シール時間がカウントされます。

注意 トップカバーのロックが不十分ですときれいなシールができません。

注意 連続作業する際は、シール時間を短くした方が良いです。

良好なシールができる最短の加熱時間に設定して下さい。

- ⑤ シール加熱が済んだ後、ヒーター線の冷却時間に移ります。

※製品のアラーム音がゆっくり“ピー...。ピー...”と5回鳴ります。

アラームが素早く“ピ.ピ.ピ.ピ.”と鳴ると、シールが終了したことをお知らせします。
トップカバーの両側を押しトップカバーを開けて袋を取り出してください。

警告 アラームが鳴り終わる前に開けると、ヒーター線、シールクッションが著しく劣化します。

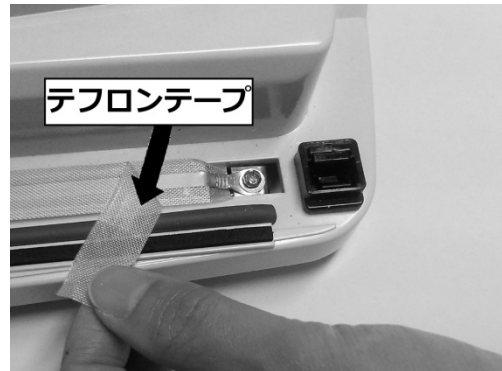
【お手入れの方法】

警告 作業の前に必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

①テフロンテープの交換

古いテフロンテープを剥がし新しいテフロンテープを貼り付けて下さい。

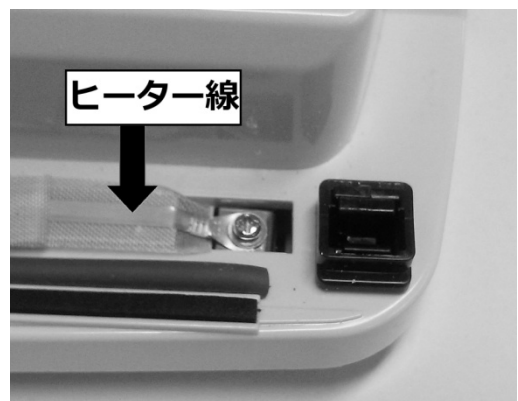
注)テフロンテープを貼る面に汚れ(油等)がありましたらきれいに取り除いてから貼ってください。
・テフロンテープがしわにならない様にして下さい。
・テフロンテープは電極部が隠れる様にして下さい。



②ヒーター線の交換

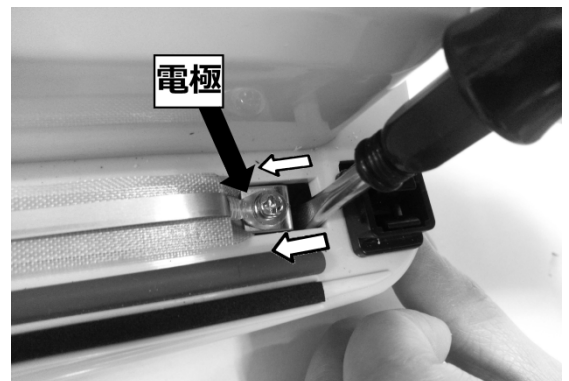
テフロンテープをはがした後 ヒーター線を止めてあるネジを電極から外し新しいヒーター線を取り付けて下さい。

注)留めネジは左右にあります。
注)ヒーター線下のテフロンテープも交換して下さい。
注)ヒーター線下のテフロンテープはヒーター線が本体に当たらない様に貼って下さい。



《ポイント》

ヒーター線は左右の電極で引っ張っていますので、取付けの際は(図1)のようにマイナスドライバー等で電極部を内側へ寄せた状態にすると交換がしやすくなります。



(図1)

③ヒューズの交換の仕方

機械本体裏側の○印の黒い樹脂をプラスドライバーでゆるめて外して下さい。



黒い樹脂を外すと中にヒューズが入っていますので新しいものと交換して下さい。

注意 ドライバーで強く締めすぎると破損することがあります。

*ヒューズ 3A(全長 20mm)



【ノズルの清掃の仕方】

◆作業終了後、付属品のノズル清掃具でノズル内のカスを取り除いてください。

◆ぬるま湯(50℃)でノズル内を洗浄して下さい。(使用後毎日洗浄して下さい)

洗浄作業手順

- ① 集水タンクをセットして下さい。
- ② 本体を図のように少し傾けて下さい。
- ③ 機能切替ボタンでU(吸気)にする。
- ④ 袋にぬるま湯(50℃以下)約 300ccを入れ、ノズルにセットし、トップカバーを閉めます。
- ⑤ ポンプが動きだし、ぬるま湯をノズルから吸い込ませます。



※袋を持ち上げると吸引しやすくなります。

- ⑥ 上記作業は汚れ具合によって数回行ってください。

警告 ノズル洗浄時、本体にぬるま湯がかからない様にして下さい。

注意 集水タンクの中の水が半分を越える前に必ず除去して下さい。

注意 本体に入った水は底部より出てくる恐れがございます。

【密閉クッションの清掃】

・密閉クッションの汚れがひどい場合はトップカバーから外れますのでお湯等できれいに洗ってください。

